

事務事業評価を「やらない理由」3つとそれに対する **反論**

事務事業とは役所の仕事の最小単位で、事務事業評価は各事務事業をまとめたものです。事務事業評価が公開されている場合は、税金がどのように使われているのかが市民や議員が一目でわかるツールです。現在、様々な方々に協力をいただき、「うちの役所に事務事業評価をやらせてください」と地元の議員に働きかけをしていただいています。

その際によく出てくる「やらない3つの理由」と、それに対する反論を紹介します。



やらない理由①

誰も読まない資料になるから・・・

この理由に **反論**

30年前の導入当時は紙資料が棚に眠っていましたが、今はネット公開が可能です。むしろ説明責任を果たす最良の手段です。



やらない理由②

職員の手間やコストがかかるから・・・

この理由に **反論**

多くは既存の数字や文言をまとめるだけ。問題は「自己評価」や「上司評価」のための調整であり、不要です。評価の主体は住民や議員であるべきです。



やらない理由③

予算査定でやっているから二度手間になる・・・

この理由に **反論**

予算査定は権力行為であり外部評価とは異なります。事務事業評価は「絶対評価の通信簿」であり、両者は役割が違うのでどちらも必要です。

日本自由党とは？

日本自由党は、日本の誇りを守り、自由主義を掲げる本格政党です。日本国民の生命・財産を守り、歴史への誇りと、言論・学問・経済活動・信教の自由といった普遍的価値を堅持します。

あわせて、我が国は核保有国を含む周辺大国に囲まれ、地政学的な危機に直面しています。この現実を直視し、抑止力の強化を含む安全保障政策を着実に進めます。

日本の行政のムダを徹底的に削減し、「減税」と、既得権益を打破する「規制改革」で家計と企業の活力を取り戻します。

あなたとともに、自由な日野市をつくる！



日本自由党